

市民がつくる  
市民が学ぶ  
市民が拓く  
生涯学習情報誌

# Stage

月刊ステージ・アップ

# up

'93

夏季

号 【7・8月合併】

無料



篠原一・市民アカデミー学長代行に聞く  
入学は『知識の海』への旅立ち



いまを話す

川崎の生涯学習を語る市民サロン 由比意出男さん  
学習人口広げるシステム作りを



東百合ヶ丘の庭に咲くテッセン

特集

川崎に  
生涯学習の  
時代は到来  
するか！

〔財〕川崎市生涯学習振興事業団発行 ●通巻 No.20

Stage Up 夏季 号もくじ/1993年

特集——川崎に生涯学習の時代は到来するか

●かわさき市民アカデミー受講生募集  
一線級講師そろえ学びの楽しさを

●ほんねインタビュー ■いまを話す■

生涯学習を語る市民サロンの由比意出男さん

「市民の声聞くシステム作り、すそ野拡大」

●篠原一・市民アカデミー学長代行に単独インタビュー

「入学は『知識の海』への旅立ちです」

■心このころ私の一冊■

「野生のエルザ」 麻生区片平、堀川泰子さん  
「哲学の森」 麻生区白山、富樫恭子さん

◆ワイド版 はりきつてます ◆グループ紹介◆

人物画研究会 裸婦を描きつづけて10年  
金曜フォトクラブ 熱い思いをカメラに託す

【市民企画講座 心のブラックホール】

孤独はなぜつくられるか 小森陽一・東大助教授

■学習・文化情報／会員募集

■小誌配布場所（各区分）

■ミニニュース／編集後記

●表紙絵：東百合ヶ丘の庭に咲くテッセン—— 田中 保さん

（小誌は再生紙を使用しています）

伝説に生きる 不滅のグレン・ミラーサウンドをあなたに！

グレン・ミラーU.K.レイ・マックヴェイ楽団

日時——9月18日 PM6時30分開演

会場——川崎市教育文化会館大ホール  
(JR川崎駅下車、東口から徒歩15分 バスあり)

出演——指揮者/レイ・マックヴェイ 特別ゲスト/ジーク・ザーチィ(トランペット)  
ヴォーカル/スウィング・シフト  
ダンス/ジャイヴィング・リンディ・ホッパーズ

曲目——茶色の小瓶、ムーライト・セレナーデ、真珠の首飾り、  
イン・ザ・ムード、セント・ルイス・ブルース・マーチ、他

前売券——6月8日火開始

入場料——S席 4,000円、 A席 3,500円、 B席 3,000円

問い合わせ 044-233-6250の川崎市生涯学習振興事業団分室

●主催 (財)川崎市生涯学習振興事業団  
川崎市教育委員会

前売り中

専門的で継続性をもつ、学習・研究機関「かわさき市民アカデミー」がこの十月に開校します。

川崎では、市民館が「市民の学びの拠点」として、その裾野を広げてきました。市民アカデミーは、それを、さらに深め発展させ、市民のための「かわさき市民大学」づくりへのワンステップとして、歩み始めようとしています。

7月16日(金)からの入学申し込み受け付けを前に、ステージ・アップは「川崎に生涯学習の時代は到来するか」を特集しました。

特集はまず▽市民アカデミーではどのような学習をするのか、入学の手続きは、などについて、簡潔に紹介します▽つぎに、川崎の生涯学習を語る市民サロンの由比恵出男さんに「いまを話す」でインタビュー。生活者・市民の立場から川崎の生涯学習の成果と問題点を明らかにしています▽そして、特集の結びとして、市民アカデミー学長代行の篠原一教授に、同アカデミーの魅力な内容だけでなく、楽しい生活を送る秘訣など夢のあるお話をいただきました。みなさまのご意見、ご感想を心からお待ちします。

# 一線級の講師そろえ 学びの楽しさを保証

入学申し込み  
7月16日から

「市民アカデミー」の学びの目的は、市民一人ひとりの知性と感性を豊かにし、現代社会が直面している諸問題を人間都市・川崎から切り拓き、市民の自治的な力量の形成に貢献することです。

したがって「市民アカデミー」の講師陣は、わが国第一線級の研究者によって編成されます。いずれも、市民の自由な学びへの最良の理解者です。

「かわさき市民アカデミー」の特色は、第一に総合性です。研究系・表現系のほかに、来春には生活系が開設されます。

第二には、川崎に立脚した内容編成です。「川崎学」では、都市川崎にとって価値あるものを徹底して確かめます。「社会活動」では、学習成果の地域社会への還元を追求します。

第三は、学びの自由度の高さです。特に演習(ゼミナール)や「社会活動」は、学生(市民)同士の活発な意見交換の場です。主役は市民です。また、講座の自由な選択も尊重されます。

市民のライフステージに、もう一つの新鮮な楽しみが拓かれる、「市民の大学」の輪の中にあなただも参加してみませんか。

入学式は10月2日(土)。受講申し込みは7月16日(金)〜8月6日(金)までです。

## 市民アカデミーへの 受講のご案内

- ◆ 応募資格：20歳以上の市民
- ◆ 修学期間：2年間(1学期が半年間で4学期。1学期は15週間)
- ◆ 開設コース：第一期生のカリキュラムと、コースは別表(4、5ページ)のとおり。
- ◆ 必修科目と選択科目  
所属するコースの講座と演習は必修。それ以外のコースの講座と「川崎学」講座は自由選択。
- ◆ 「川崎学」は土曜の午前・午後1講座ずつ、計2講座を開設。(選択講座は、入学決定後に受講希望を提出)。

特集

# 川崎に「生涯学習の時代」は到来するか

「市民アカデミー」の開校を前にして

- ◆受講日：所属するコースの開講曜日（週一日）と選択講座の曜日。
- ◆時間：各コースとも、講座は午前10時半～11時50分。演習は午後1～3時。
- ◆第一学期の期間：授業開始10月4日（月）。授業終了2月12日（土）。なお祝日は休講。
- ◆会場（学ぶ場所）：〔研究系〕武蔵小杉駅周辺の施設。①人間学―ユニオンビル②政治・国際関係―中原区役所③経済と地域―総合自治会館〔表現系〕3コースとも新百合21ビル（小田急線新百合ヶ丘駅下車3分）とその周辺〔川崎学講座〕教育文化会館（JR川崎駅からバス5分）
- ◆定員：各コースとも25人。（定員を超えた場合は抽選）
- ◆費用：①入学金 一万円（ただし、市内在住・在勤者以外の方は2万円）②授業料 1学期分（半年分）2万円（①と②は入学手続きの時に一括納入）③教材費 テキスト代などは別途、実費負担（入学後に説明）
- ◆入学生の決定：申し込み多数の場合は抽選。
- ◆卒業：所定の単位の履修によって認定。
- ◆入学の方法：①申込期間 7月16日（金）～8月6日（金）②申し込み方法 所定の入学願書を生涯学習振興事業団・川崎分室あてに郵送で提出。（8月6日消印有効）
- ③入学生の決定 8月31日までに本人あてに可否の結果を通知。
- ※入学案内パンフレットと入学願書用紙は、7月9日（金）から市民館・図書館、教育文化会館、区役所・支所・出張所、生涯学習振興事業団にて配布。
- ◆聴講生について：①コースに所属せずに特定の講座だけを受講する聴講生枠も設ける②聴講料は1講座6千円③聴講生の申し込み第1学期開設の6講座と「川崎学」講座の聴講は、9月10日（金）から ☎044（233）6250の生涯学習振興事業団・川崎分室で電話受け付け）
- ※第II学期の聴講生受付は、来年2月。
- 『かわさき市民アカデミー』についてのお問い合わせは、☎044（233）6250生涯学習振興事業団・川崎分室内「市民アカデミー」事務局（〒210川崎区富士見2の1の3、教育文化会館内）。月曜日は休館。

## かわさき市民アカデミー第1期生カリキュラム （'93年10月入学生）

- ◇第I学期：1993年10月～1994年2月
- ◇第II学期：1994年4月～1994年7月
- ◇第III学期：1994年10月～1995年2月
- ◇第IV学期：1995年4月～1995年7月
- ◆講座は午前10時30分～11時50分、演習は午後1時～3時

### 研究系

コース	曜日	学期	講座のテーマ	講師	演習コーディネーター
人間学	月曜	I	身体の文化論～人間の体、生から死まで	養老 孟司 (東大教授)	平塚 眞樹 (法政大講師)
		II	心にみる人間の姿～人間形成の心理学	河合 洋 (発達医学研究所所長)	平塚 眞樹 (法政大講師)
	水曜	III	教育制度と人間形成～社会制度との関係で教育の権利を考える	牧 証名 (駿河台大教授)	平塚 眞樹 (法政大講師)
		IV	人間の生と死～道元をよむ	森本 和夫 (駿河台大教授)	平塚 眞樹 (法政大講師)

政治・国際関係	水曜	I	現代政治の争点	篠原 一 (東大名誉教授)	馬場 康雄 (東大教授)
		II	国際貢献と国際連合	鴨 武彦 (東大教授)ほか	平島 健司 (東大助教授)
	月曜	III	新聞記者のみた政治と社会	朝日新聞・共同通信・信濃毎日新聞の記者	平島 健司 (東大助教授)
		IV	戦後史	宮崎 隆次 (千葉大教授)	平島 健司 (東大助教授)
経済と地域	金曜	I	都市と人間	間宮 陽介 (京大助教授)	菅原 昭 (神奈川大)
		II	経済学の考え方	宇沢 弘文～交渉中 (新潟大教授)	菅原 昭 (神奈川大)
		III	環境と経済論	寺西 俊一～交渉中 (一橋大助教授)	菅原 昭 (神奈川大)
		IV	社会政策とジェンダー	大沢 真理 (東大助教授)	菅原 昭 (神奈川大)

- ◆会場はコース別で ●人間学＝ユニオンビル(南武線・東横線武蔵小杉駅徒歩5分)  
 ●政治・国際関係＝中原区役所(南武線・東横線武蔵小杉駅徒歩5分)ほか  
 ●経済と地域＝総合自治会館(南武線・東横線武蔵小杉駅徒歩5分)ほか

## 表現系

コース	曜日	学期	講座のテーマ	講師	演習コーディネーター
文 歴 自 分 学 史	火曜	I	作家たちが語る時代と人間	佐野 洋、島田 雅彦 宮原 昭夫ほか	和田あき子 (東京外大講師)
		II	ノンフィクションの世界	宇佐前 承 (記録作家)	和田あき子 (東京外大講師)
		III	歴史家と文学	三谷太一郎ほか (東大教授)	和田あき子 (東京外大講師)
		IV	もの言わぬ人の歴史	彦坂 諦 (作家・芝浦工大講師)	和田あき子 (東京外大講師)
芸 術	水曜	I	自然から抽象へ	西田 秀穂 (東北大名誉教授)	西田 秀穂 (東北大名誉教授)
		II	現代における美術とは何か	末永 照和 (実践女子大教授)	西田 秀穂 (東北大名誉教授)
		III	ジャポニスム(日本主義)～ 日本との関係	大森 達次 (女子美大教授)	西田 秀穂 (東北大名誉教授)
		IV	山紫水明	小川 裕充 (東大教授)	西田 秀穂 (東北大名誉教授)
演 映 言	木曜	I	ドラマとは何か① ～作家自身が語る	木下 順二 矢野 誠一 藤久 ミネ	江藤 文夫 (成蹊大教授)
		II	ドラマとは何か② ～演者自身が語る	観世 栄夫 米倉 齊加年 藤久 ミネ	江藤 文夫 (成蹊大教授)
	月曜	III	日本の民俗芸能	三隅 治雄 (実践女子大教授)	未定
		IV	現代の映像	江藤 文夫 (成蹊大教授)	未定

- ◆会場はいずれも新百合21ビル(小田急線新百合ヶ丘駅徒歩3分)とその周辺施設。



川崎の生涯学習を語る市民サロン

由比 意出男さん

いまを話す

インタビューー 椎野 和枝

Vol.16



「川崎の生涯学習を語る市民サロン」は、市の学習活動支援施策について、市民のホンの発言を集約し、川崎市教委や同委が学者らに委嘱した「川崎市生涯学習推進基本計画策定調査委」にスバリ注文を付けてきた。由比意出男さんは「サロン」の世話人的存在。由比さんは「いつでも、だれでも、気軽に学べる生涯学習」の重要課題に「広く市民が参加できるシステム作り」を挙げた。穏やかな口調で問題の核心を示す由比さん。他の市民グループからの信頼も厚い。策定調査委はこの春、基本計画二次素案をまとめ、市民シンポジウムも開いた。基本計画の策定は今年度中。インタビューアは女性学を通じ、地域社会に目を向け続ける椎野和枝さん。

## 生涯学習人口、広げるには 市民参加のシステム作りを

—— 人との出会いは、私にとつて一番ワクワクすること、お会いするのを楽しみにしていました。由比さん、こちらこそ、どうぞよろしく（笑顔で）。

—— 由比さんは「川崎の生涯学習を語る市民サロン」をはじめ、地域に根差した幅広い活動をされています。川崎に長くお住まいなのでしょう。か。

—— 由比さん いやー、まだ八年です。から「新米」ですよ（笑い）。

—— ほお。何がきっかけで、地域に目を向けられるようになったのか。

—— たのですか（驚いた表情で）。

パソコン通信始め  
住民運動に加わる

—— 由比さん 八七年に、川崎で進められていた「キャンパス都市・かわさき構想」の一環で「キティー」というパソコン通信が始まりました。市民参加の情報ネットワークということなので「参加してみよう」と。住民運動に加わったのは、そこからなんです。

—— パソコン通信からは、今ふうですね。

—— 由比さん 友人が「ボケ防止にはパソコンで遊ぶのが一番」と言うものだから、私もその気になって……（笑い）。海外の通信にアクセスしたり、楽しいですよ。

—— 本当にお若い。ボケという言葉が逃げていくようで（笑い）。由比さん 「キティー」の情報で「キャンパス都市・かわさき構想」（高度情報化社会に対応した川崎の未来都市構想）の国際会議が川崎であると知り、出席しました。内容に疑問を感じ質問しましたが、女性たちの発言に共感しました。地域で学習し、活動してき

### 由比 意出男さん

ゆい・いでお＝1926年東京生まれ。高等商船学校卒。戦後、横浜で港湾関係の仕事に。労組の書記長を務める中、人権・差別問題に目を向ける。退職後、友人と情報処理の事務所を開設。「川崎の生涯学習を語る市民サロン」運営委員。宮前環境フォーラム代表、平和学級企画委員、市民自治をすすめる会事務局など。宮前区菅生の自宅に妻と一女二男。

## リクルート疑惑発覚の教訓 常に市民の視線を行政に

「人たちがだっただけです。次の会で、彼女たちと話しあい「私の疑問は、みんなも感じている」と確信しました。

——連帯感が生まれたのですね。  
由比さん ええ。そんな中で、(K助役の)リクルート事件が起きて……(苦笑い)。やはり行政や地域に、私たち市民が常に目を向けていかななくてはと思いましたね。

——おっしゃる通りです。私も地域の人と交わりたくて、会合に出たり、自主学習グループに参加しています。男性の参加者が少ないし、顔ぶれも同じよう……。  
由比さん どの会も男性は少数派で「また、あなたも来ましたか」といった具合です(笑い)。

### 地域社会での人との交流 仕事で得られぬ知識吸収

——「地域で何かやりたい」と思っている人は多いようですが、



すそ野が広がりませんね。  
由比さん 人それぞれに人生哲学があり、男性には幸か不幸か仕事・職業が……。私は今春、仕事はほりタイアしました。趣味がないので、それに埋没することもできない(苦笑い)。いまは、仕事では得難い知識をたくさん吸収しています。これを少しでも地域に還元できればと……。  
——現役からリタイア後へと、

ごく自然に地域に溶け込まれたよう  
うで、うれしくなります。  
由比さん いやー、私も会社人間でした。五十九歳から三年間、息子の少年野球のコーチをやったんです。その仲間の紹介で、宮前市民館の人権学級講座に参加し、在日韓国・朝鮮人の問題を学習して。地域に関心を持ったのはその頃からです(控え目に)。  
——ここ数年、「生涯学習の時代の到来」と言われ、どの自治体も「生涯学習」の大合唱。でも学習したい人が、実際にその機会を持つのか疑問に思うのです。「市民サロン」の活動についてお聞かせ下さい。

### 椎野 和枝さん

しいの・かずえ=京都生まれ。夫の転勤に伴い京都、東京、広島に転居。広島女性史研究会に所属し、共著「山陽路の女たち」などを執筆。現在、テキスト「現代女性読本」の執筆仲間と女性問題講座を企画・運営する。「女性の学習情報をつなぐ会」、川崎の自主学習グループ「ぶらすI」のメンバー。川崎に住んで13年。自宅は麻生区白山。

由比さん 三年前、「川崎市生涯学習推進基本計画」の策定調査委員会が作られ、そこに市民の意見を反映させるため、市民五十人の公募がありました。

——集まった方の顔ぶれは。  
由比さん 二十代後半の女性から八十代の男性まで、年齢層も職業も幅広い。月一回の会合には、いつも三十人ほど集まります。仕事や生活歴もさまざまで、意見を戦わせ学び合う。メンバーが書いた脚本で劇を上演したり。その中で、お互いに理解が生まれ親しくなる。この体験そのものが、私に

は貴重な生涯学習の場でした。

## 行動し仲間から 学ぶことが多い

——行動して仲間から学ぶことが多いですね。由比さんが生涯学習に関心を持たれたのは、どのようなことからですか。

由比さん かなり以前から、学校教育の問題があると感じていました。教育の場で暴力やいじめ、君が代・日の丸問題、カリキュラ



## 市政に市民の体験・知恵生かせ

### 「市民 大学」 住民運動発展に寄与

ムの在り方など。これを良くしていくためには「学校任せではいかん」、家庭や地域が関心を持たなくてはと。

——本感到同感です。その中でこの春、川崎市生涯学習推進基本計画の二次素案がまとまりました。川崎の生涯学習の理念や行政の支援態勢、今後の課題、解決策が盛り込まれています。「素案」について、どう思われますか。

由比さん 素案には、「市民サロン」の意見がかなり生かされています。ですが、素案も、市の総合計画「2010プラン」も、市の有能な職員が名文をこしらえがちです。一番の問題は、言葉の上での市民参加ではなく、どんな場所にも市民が広く参加できるシステムを作ることなのです。

——(大きくうなずく)。

由比さん 私の哲学のひとつですが、「一人の天才より、十人の凡才の方が優れている」「一人の専

門家より十人の市民の方が値打ちがある」と。革新市政の川崎市で、なぜ日常的に市民参加が実現できないのか、不思議でたまらないのですよ(残念そうに)。



——本感到共感します。

由比さん もう「文章は結構」と言いたい。肩書のない市民の声をもつと聞かなくては、市政が活性化しないと思いますね。

——私がかねがね感じていたことです。多くの市民は肩書はないけれど、豊富な体験をしています。

由比さん この高齢化時代には、得難い体験を持った人が、地域に大勢います。その体験や知識を眠

らせているのは、もったいない。——素案では「市民大学」についても触れていますが。

由比さん 市民から「川崎に自前の市立大学が欲しい」という声が、以前からあったのです。でも、総合大学の創設は機構・立地的にむずかしい。当面は、従来の社会教育とネットワークを結び、市内の教育施設と連携した多様な「市民大学」が良いだろうと。「市民サロン」で討議を重ね、委員会に意見を出したのです。

——「市民大学」が、おもに高学歴市民の再学習の場になる懸念はありませんか。

由比さん ぜひ、だれもが参加できる場にしなければなりません。市民が環境問題や市民自治などに取り組む時、法律面など専門知識がないと先に進まない現実があります。いまの社会教育から、高レベルの学習機会が必要だと感じます。

——そこに例えば「職人さんに学ぶ」といった部門を設ける。そんな多様さもほしいですね。

由比さん そのための母体が、「地域教育会議」だと、私は期待しています。これは、生涯学習や



地域の在り方を話し合う場です。お年寄りの民話やしめ縄作りも話題にし、子供も参加し地域ぐるみの活動の場にと願っています。

——それにしても「教育会議」の名称は、むずかしいですね。

由比さん そうですね。教育問題だけを話し合う印象が強い。行政主導的で、抵抗感がありますし（笑い）。「市民が作り上げていく」をアピールした、参加しやすい名前にしたいですね。

### 市民大学に女性学も盛り込んで

——そして「市民大学」には、

## 名称むずかしい「地域教育会議」だが

# 地域の在り方話し合う場

女性学の科目もぜひ、盛り込んでいただきたいのです。人権問題をはじめ女性の問題は、男性にも共通する課題と実感していますので、女性学を男性と一緒に学び、理解し合いたいのです。

由比さん （うなずく）地域のことは、女性の方がはるかに進んでいますね。男性は地域に疎く、むしろ女性から学ぶべきです。地域に男性がどのように参加できるのか、その道を本気で模索していなくてはと思っています。

——さて、「基本計画」が今年度中にも決まるそうですね。市民の要望が盛り込まれても、それが実現するのでしょうか。

由比さん 名称は「実施計画」に変わるでしょうが、市民参加のシステムを現場にどう生かすかがポイントです。市民の活動拠点に望まれる学校開放も、現状は数校です。教室の開放に学校側は管理責任を問題にしますが、解決の道

はいくらでもあると思いますよ。——学校も、地域社会の一員ですものね。

由比さん ええ、学校や市民、企業や行政マン、みんな地域に生きています。「学校は地域の人が踏み込む所ではない」との意識の壁を撤廃しなくては。

——宮前市民館には二十四時間使えるグループ室があり、市民の自主管理でトラブルもないそうです。こうした集う場所を「各区に増やしてほしい」との要望は、大変強いのですが。



由比さん これは、活動している人たちの切実な要望です。二十四時間利用できる部屋の確保は、行政の人が想像する以上に値打ちがあるのです。それが実現していないことに、川崎の遅れを感じますね（きっぱりとした口調で）。

——夜間も利用できる、働く

人の学習や活動のチャンスが広がります。物の豊かさより、人生をどう生きるか。女性が気づき、男性も気づき始めていると思います。

由比さん その芽を育てるために、実際の市民参加のシステム作りが緊急課題なのです。この秋開設する中高年のための「市民アカデミー」も、市民の声を生かした運営をぜひ実践していただきたい。市の職員は有能です。市民参加を高めると、行政能力が倍加しますよ（力を込めて）。

### PRの方法工夫し 生涯学習人口増を

——「基本計画」が本決まりの段階では、文章やPRの方法を工夫してほしいですね。生涯学習人口のすそ野を広げるためにも。

由比さん 大賛成です。市民サロンで私よりはるかに年上の方が「生涯、地域のために働く」と張り切っておられる。目標を持って生きていると老け込みませんね。

——きょうは、お会いして元気が出ました。すばらしいお話を、ありがとうございます。

（題字は高橋 清・川崎市市長。構成／家村かをる。文責／田中 園）

篠原一・学長代行に聞く

## いま、なぜ「市民アカデミー」なのか！

～小誌が単独インタビュー～

知識の海への旅立ちで  
市民社会のレベルアップ

「画一化したテレビ情報では、真の知識は得られない。かわさき市民アカデミーとは、市民が『知識の海』に旅立ち、市民社会をレベルアップさせることだ」。新しい高レベルな学習機会「かわさき市民アカデミー」の篠原一・学長代行（成蹊大学教授）は小誌とのインタビューでこう語った。学校の勉強は義務だから、おもしろくないが、自分の必要から学習することは楽しいもの」とも。また、「市民アカデミー」と「市民大学構想」との関係について「まず、アカデミーを開校させ、さまざまな試みを行う。それは市民大学への準備でもあり、市民大学は、これを発展させ三、四年のうちに開校させたい」と明快な見解を述べた。

——新たな学習機会「かわさき市民アカデミー」が、この秋に開校します。本日は、学長代行の篠原一先生に「いま、なぜ、かわさきアカデミーなのか」について、率直なご意見をお聞きします。よろしくお願ひします。

篠原さん こちらこそよろしく。十数年前から「国際化・情報化・高齢化社会」という言葉が使われ、この数年は「生涯学習の時代」が行政の飾り言葉のようになっています。

篠原さん そういう感じもあり

ますね（うなずきながら）。

——世界の出来事がテレビを通して、日本の家庭に同時に放映され「全部分かった」と錯覚しがちです。その一方で、高齢化社会をフォローする社会になっていません。こうした中で、実生活と生涯学習とのかわりについて、お願いします。

篠原さん 情報が非常に多様化して、昔は、みんなが読む基本的な本が決まっていたいますが、この頃はそれも多様化しています。逆にテレビ情報は非常に画一化して、市民がそこから知識を得ようとしても、本当の知識は得られない社会状況があるわけです。

——なるほど。

篠原さん 市民アカデミー、市民大学の基本は、市民たちが「知識の海に旅立つ」ことだと思いません。義務で行く学校の学習は、おもしろくないが「自分の必要や意志で学習する」というのは、非常に楽しいものです（笑顔で）。

——「学校で勉強、会社でも勉強、もういい」という人も。

篠原さん 大切なのはそこなんです。学習の内容は、市民からの要求を中心に据えなければなりません。

## 学習内容は市民要求を中心に 三、四年後に市民大学

せん。市民が持っている文化と知識の度合いによって、市民社会の質が決まるので、川崎に生涯学習のいい機構が存在するかどうかは、川崎の市民社会のレベルを示すものだと思います。

アカデミーの内容、運営の質が問われていると。趣味・お稽古などの生涯学習はいけませんか。

篠原さん 十九世紀初めのドイツに「ビーターマイアー時代の文化」がありました。ビーターは「実直な」、マイアーは「普通の市民」という意味で、「小市民の文化」ということです。当時は政治、経済にタッチすると抑圧された時代で、背景に「危ないことには関わらない」があった。産業が発達し、教養市民層が豊かになると、彼らは書机を作り、家に居間と子供部屋を作るのですね。

——今の日本は、政治離れですが、意識は似てますね。

篠原さん ええ。自分の世界だ

けを大切に、政治や社会から逃げて「愉快地に快活に悩まずに日々を送ろう」という風潮です。それでも市民社会の質は前より高くなりましたが、そこから、さらに一歩出て政治や社会や文化に対する知識を持ち、人間としての質を磨く文化形態を作らなくては駄目なわけです。

——人間の質を磨く、ですか。

篠原さん 「知識の海を旅する段階」から一歩出ると、さらに多様なところへ広がり、実用性を持つ社会で役立つことにも発展します。

——他都市でも、生涯学習が叫ばれていますか。

篠原さん 多くの県・市で生涯学習基本構想が作られています。しかし、どうせやるなら非常にユニークな川崎方式で、市民社会がレベルアップする大きな夢を実現させたいわけです。

——川崎には「市民大学構想」

があります。「市民大学」と「市民アカデミー」の関連性がはつきりしません。

篠原さん それは、大変重要な問題です。これには三つの流れがあり、一つは、生涯学習振興事業団のシルバークレジットの発想から出た市民アカデミー。二つ目は、教育委員会の生涯学習基本構想と基本計画の中の市民大学システム。これは、市民大学だけでなく全体のシステムをどう作るかということです。三つ目は川崎市の基本構



想の中の市民大学構想。これは、今年三月の市議会で承認されました。市民アカデミーは、市教委の「市民大学システム」の中心に位置づけられていますので、私はこの三月に、三つの流れが、市全体のシステムの中で一致したと考えています。つまり、当面は市民アカデミーを先行させ、さまざまな

試みをし、市民大学の準備をする。三、四年のうちに本式の市民大学

へ発展させられると思います。

——市民アカデミーが、市民大学づくりの第一歩ということですね。そこでアカデミーの特徴・魅力についてお話しください。

篠原さん 市民アカデミーの特徴は三つあると考えています。学

科ですが、その一つは研究系で、政治や国際関係、環境や福祉、人間学など、学習意欲を満たす学習機関です。対象は中高年に限らず、社会人一般を考えています。

次は表現系で芸術、美術、演劇、文学、自分史のように自己表現ができるもの。三十代から五十歳代の女性が多くなるでしょう。

三つ目が生活系、つまり技能の習得。いままでの市民大学は、実社会に貢献することが少なかった。たとえば、日本に住む外国人が、日本語を勉強したいという場合、教える側の技術・技能がいる。それも学習しますが、日本文化を知らないのと本当の日本語を教えられないので、両方を合わせてやっていきます。

そして、この「三つの系」を広げることで、市民社会のあらゆるタイプの人たちが交流する。これが第一の特色です。

第二の特色は、活動のスタイルの問題です。今の市民社会は、学ぶ人と活動する人が分離していません。市民社会の質を良くするには「学習もするが、体を動かし市民活動もする」でなければ……。どこの市民大学も、このことに成功していません。今度のシステムには、川崎学もあり、社会活動にも単位を与えるユニークさがあります。各系がこの点でドッキングすれば、画期的なものになるでしょう。



それから、日本は学歴社会なんですね。市民大学で学んだ後、社会人入学を希望する方のことも十分考えたい。子育てが一段落した

女性は、再度、社会に出たいと思うのですがパートしかない。勉強をし直し、編入学して再就職の時は厚生年金が付くくらいに日本社会にならないと……。将来、市民大学が「高度な階段」の役割を果す。これが第三の特色です。

——とても分かりやすく、系統的・発展的なお話でしたが、行政の取組みについて、いかがですか。

**篠原さん** 生涯学習というのは、教育委員会だけの仕事であってはいけません。全庁的システムでないと、市民大学は成功しません。私は何回でも行政に主張していきます(きっぱりと)。

——市民アカデミーに話を戻します。高齢者には、学ぶ場・教室が身近なほど、ありがたいと思えますが……。

**篠原さん** 場所は、自宅から三、四十分以内というのが妥当でしょう。私は「市民大学は駅の前」という説なんです。市民施設は一番

## 異タイプの市民交流の場に 不可欠な 市の支援 活気ある街と人の集いを



便利な所にあるべきです。

——アカデミーや市民大学で勉強された方の「その後」は?

**篠原さん** 市民館で新たな組織を作り、小さい範囲で生涯学習をしていく「分権化」ですね。

——アカデミーの就学期間は二年間で単位制ですが、入学すると、二年間で六十週間、その週の二日間、通学することになりますね。途中、病気で長期欠席の時はどうなりますか。

**篠原さん** 高齢者の場合は単位がなくとも脱落しないんです。単位は、学習意欲を促すためと考えてください。休んだ人はテープを借りることもできます。レポートが苦手の人、目や手の不自由な人には、専門嘱託職員が話を聞いて手伝って単位が取れるようにします。登校日は週一日は必ず出て、もう一日は、自由にしたいと思います。それから、高齢者の場合、

一人の人が再入学して政治をやり、次に経済をやるケースが多いのです。一緒に学ぶことで、元気になる。これも市民大学の特徴ですよ。

——生涯学習人口を広げる点については、どう思われますか。

**篠原さん** 川崎の市民アカデミーや市民大学は、市民が主体的に集い、行政はそれを支援するというものなんです。カルチャーセンターに行っても寂しい」というのは、仲間や地域での交流がないからです。市民大学は、学習のつながりを、地域のグループづくりで発展させるのです。そうになると、学習人口が飛躍的に増え、「活気ある町と人の集い」ができます。

——日も早く、そのような地域社会になるといいですね。

**篠原さん** これを成功させるには、お金もそれなりに必要ですし、難しいことをやさしく教えたり、異なる意見の人をうまくコーディネートできる講師の選定が特に大切です。とにかく、みんなが夢を持って取り組んでほしいですね。

——本日はありがとうございました。

(聞き手は小誌・田中 園)

ジョイ・アダムソン著 野生のエルザ 文芸春秋社  
ライオンの赤ちゃんとの感動的ふれあい

麻生区片平 主婦 堀川泰子さん

今ではあまり知る人はいないかもしれないが、出版された当時はかなり話題をよんだ本である。アフリカの自然の中で、ハンターに母親を殺されたライオンの赤



車を走らせながらラジオをつけると、ちょうど朗読の時間。今日はどんな話だろうと耳を傾けた途端、「世界の共通語というのは……」という一節。ここでふと、「この後に『英語である』なんていう続き方だったらつまらないな」と。 どういう内容の話であったのかはつきりしないが、それに続いた言葉は私を唸らせた。それは「世

ん坊と人間とのふれあいを感じることができると。そう、エルザとはライオンの名前である。エルザが成長していく過程で様々な問題や苦勞のなかで、試行錯誤を繰り返しながらライオンと共存していく。まるで、自分の子供のようにライオンを育てていくのである。大きくなったエルザは、やはり

S.E.フロスト・ジュニア著 哲学の森 玉川大学出版部  
ゆとり持ち、論理的考え方を

麻生区白山 主婦 富樫恭子さん

自然に帰すのが動物の幸せと感じた作者はそれを実行に移そうとする。だが、人間に馴れたエルザはすぐ戻ってきてしまう。心を鬼にして何度も試みる作者。そこには人間とライオンと言った関係を越えた感情が垣間見られる。 やつと、野生に帰っていったエルザは何年か後、夫と子供を連れて作者のもとに現れる。それはまるで里帰りのようでもある。この作品は映画にもなり反響をよんだ。その後、作者のアフリカでのくらしぶりが批判される記事があつ

界の共通語は論理的な考え方である」というものであって、その瞬間、頭に浮かんだ本が『哲学の森』だった。 今まで私たちは、英語が話せれば国際人であり、言葉が通じれば世界中の人たちとわかり合えると勘違いしていたのではないかと。ところが、皮肉なことに、経済

などを考え、経済援助だけでは駄目だとわかると、言葉が通じても分かり合えないという部分を自覚するようになった。 そして、言葉は使えても論理的なものの方ができないから、理解し合えないということに気づく。「人間ならお互いわかり合えるのが当たり前」という言葉に迫力がなくなった。

たりして、この作品はあまり話題にのぼることもなくなったように思う。しかし、十代半ばのその頃、人間がこんなにも野生の動物とのかよくなれる、といった話はなかなか衝撃を私に与えてくれた。今、こうしたことがあれば、たぶん動物虐待ということになってしまふのかもしれない。つきつめれば、密猟と言った問題も存在するとは思ふ。が、感動的な話だったことにかわりはない。

『哲学の森』は、遅ればせながら、走り続けた、あるいは走り続ける日本の大人たちに、また若い人たちに、今必要なのは、哲学の森を散歩しながら、論理的なものの考え方、表現の仕方を知ることだと教えてくれる。そして、この散歩も、散歩がいつもそうであるように、ゆとりがないと楽しめない。ゆとりがないと自分さえ見失う。

投稿をお待ちします。  
1行15字どりで42行です。

## ワイド版 はりきってます グループ紹介



## 自然な色彩・形求めて 人から学び自分生かす

仲間と楽しむ

学ぶ

活動する

生き生きと。

「裸婦を描くことは、全ての絵の基本です」。人物画研究会の好きな地域の仲間が毎月第一代表・千本京子さん(31)ら三人、会員十五人は裸婦を描き続 泉治水事務所で、ヌードモデルを

### 裸婦を描きつづけて10年

### 人物画研究会

前にキャンパスに向かう。

モデルをにらむように、キャンパスに筆を走らせ、時たまキャンパスから離れ、モデルと未完成な自分の絵を交互に見つめる。キャンパスを布でしごき、絵をイメージに近付けようと神経を集中させる中年女性。目と指先に気持ちを込めて鉛筆を動かすヤングママ。三、四カ月で一作品を仕上げる。

教室全体に緊張した雰囲気漂う。完成した作品を前に、会員相互が自由に批評し合う批評会は上達に欠かせない。森秀男画伯(一陽会会員)の厳しい評価と温かい激励の言葉もある。

「人物画研究会」の発足は、約十年前、多摩市民館の成人学級絵画教室で、講師の森画伯の指導を受けた受講卒業生が、同画伯の個性を尊重する指導を慕い誕生。当初、森画伯は指導を固辞したが会員の熱意に動かされ引き受けた。

意外なことに、展覧会は一度も開いたことがない。アマチュアの作品でも、専門家の一定の評価が得られる作品でなければ」との同会の謙虚な姿勢からだ。

優れた絵画の必須条件は、絵全体のバランスが良く、形や色彩が

自然なこと。裸婦は曲線一つをとつても、ごまかせない。肌の色が光や描く場所で微妙に変化し、描く人のイメージでも違う」。

全会員が「裸婦を描くことが絵の基本」と認識し、絵の出来上がりは十人十色だが、お互いの個性を尊重し学び合う気持ちが同会の長寿の秘訣のようだ。

森画伯は「体全体の中で、顔や手のバランスはどうか。色の微妙な違いは……など、裸婦画は絵の基本で、モチーフに最適。また、大半の絵には人物が描かれている」と語る。

千本代表は「絵を描くのは、自分の表現力や美の追求を重ねて、最終的には自分の内面を追求するためだと思います」と話す。

「裸婦は、自分の思うように描けないから、逆に頑張れるのでしよう」と最年長の園部留子さん。

もう一人の代表、平山祥子さん(45)は「描くことは、スポーツをやり心身が気持ちよくなるのと同じ。心の葛藤が絵に出ます」と笑顔。

千本代表宅は多摩区西生田四の二五の一八 ☎95113583。(取材 小誌・山本綾子。写真も)

## ワイド版 はりきってます グループ紹介

## 熱い思いをカメラに託す

## 金曜フォトクラブ

写真愛好家の「金曜フォトクラブ」(二瓶きよ子代表(62))ら十二人へのメンバーは、毎月第一金曜日の午前、中原会館(工ポツク中原)の会議室に、それぞれの思いを込めて撮った一カ月間の自作を抱えて合評会にやってくる。

モチーフは花、風景、家族とマチマチ。年齢は四十歳代から七十歳代だが、写真にかける情熱は若者に負けないほど熱い。女性が多いのも同会の特徴だ。

人の心を打つ写真をモノにするには、興味を持って事物を観察することだ。この五月、自分たちの生活拠点を見つめようと「かわさき」をテーマに作品展を開いた。住み慣れた町は、レンズを通して見ると新鮮に映り、ふるさとの再発見ができたという。

同クラブの出発点は、高津市民館主催の「写真日記講座」の受講。修了後、自主サークルとして写真を撮り続けてきた市民が母体。

指導は、日本写真家協会会員で、

美大講師の小松紀三男さん。構図のとり方、題材の定め方など、個性にあわせ指導。小松さんは「会

## 真剣に写し、楽しく批評 住み慣れた町に焦点当て



員のみなさんは、学生と違い物事をハッピーに見ますし、生活に密着した物に目がいくようです。とにかく写真は楽しむことが第一で、次に見る人に、アピールできる作品を写すことが大切です」とアマチュア写真家の心構えを説く。

入会后、初めてカメラを持つ岡清子さん(40代)は「先生の教えられるままにシャッターを切っています」と控え目。中学生の頃からカメラ好きの山下城さん(74)は「記念写真もい

いが、違う被写体が撮りたくなり画面構成を考えて写しています」。

退職後、写真と出会った五島幸雄さん(68)は「写真が出来上がると家族で批評会を開きます。この『桜のトンネル』写真には撮影意図と違うのです。おばあさんが邪魔かな」と思ったのに、面白さが出てほめられました」。

外出時は、カメラを離さない水島光司さん(63)は「目に止まった物は何でも撮っています。作品展に出品した『浮き島』を手始めに多摩川の源流まで廻りたい」。

「会の今後の課題は、それぞれが自分のテーマを持つことです」と二瓶代表が抱負を語る。

また、「お互いに批評しあうのが楽しく、励みになります」退職後、思うままに時間が使え、カメラを持つて歩き回っています。本当の意味で自立できた気持ち」と他の会員も若々しい。

同会では、会員を募集している。連絡は、麻生区上麻生276-9 ☎987-13783の同代表宅。

(取材/小誌・熊野史子)

仲間と楽しむ

学ぶ

活動する

生き生きと。

## 心のブラックホール「孤独はなぜつくられるか」

## 強いられた人間像と自我が原因

小森 陽一  
東大助教授

孤独について考えてみたい。自分の心の奥底に自分では分らないようなものがあった、それをつかむには、どうすればよいかというのが「心のブラックホール」の総題と思う。

自分の奥底にあるものと、人が孤独になるということが、深くつながっているのではないか。それを映画「野いちご」から、どう汲み取るかについて、いくつかの視点からお話したい。

まず、「野いちご」という題名だが、映画の最初と最後にイサクとサーラとの記憶や幻想の中で再会の場面で「野いちご」という言葉が出ている。最初にイサクが「野いちごがある」と存在を確認し発見する。そして、最後の湖の遠景で、サーラが「野いちごは、もうないわ」と呼びかけている。一日の旅を通して、イサクのイメージが「野いちごがある」から

「ない」という状態に、心の中が変化したことを強調したかったのだと思う。

第一番目の問題として、この映画は、タイトルの前に主人公のイサクが「私はこのような人生を送ってきた」と心の内側の独白から始まっている。冒頭のシーンを通して見えてくる問題が「なぜ人は孤独になるのか」という大事な問題を提示していると思う。

そのことは、私たち人間が「内面の声」を持っているということだ。そもそも人間は、初めから「内面の声」を獲得していたわけではない。欧州では宗教改革以後、日本では日清戦争前後のようである。つまり、私の中に、もう一人の私をつくり、二人の私が対話をする「自己の二重化」が起こった。

と起こらない。これをイサクに当てはめてみると、常に自分自身の中で「内面の声」が響き続ける状態が、なぜ生まれるのかが見えてくる気がする。

彼は非常に厳しく自分の生活を律し、立派な医師として名誉博士号をもらうまで、勤勉に努力し続け自分の中で、はっきり自分を律する「規則」をつくって生きてきた。

私達は、あるべき人間像を自分の中に定めて、そこに向かって進んでいく姿を「よし」とする傾向がある。少なくとも子ども達は、常にそのような生き方を強いられる。

あるべき人間の姿を定めて、それを目標に日々の生活を規律と規範に合わせて生きていく。このためには、自分を自己訓練しなければならず、そのための規律訓練的な場所がある。

何が問題かという、規律訓練的な場所は、全体があるべき形に収めなければいけない。そこから逸脱している者は、正しくない者、異常者として排除していく構造を持っているわけだ。このため、人はどうなっていくのか。自分の心の中で自分を律する規律が、みんな共通してしまい、特に学齢期の子ども達に対して、極めて均一的に規律を与えられてしまう。

自分の目標に向かって、一貫した人生観や強固な意思を持たなければならぬとの価値観。しかし、それが本当にその人自身の生き方なのか。実は、判断が保留されたまま、「みんなが、やっているから」と押し流されていくのが、現代社会なのである。

私という存在は、他のだれとも比べることのできない存在。私の生き方は、私の好みで選んでいるのだというライフスタイル。そういう感受性が一切、排除されていくような恐ろしい事態を現代社会は抱えているわけである。

つまり、私という存在が、一番最初の段階で抑圧され、抑圧を内側に取り込んだ時に、まさに自分を律して内面の規律が生まれて、

## 《映画「野いちご」の概略》

スエーデンのイングマール・ベルイマン監督作品（57年）主人公のイサク・ポイルは七十五歳の医師。名誉博士号の受賞式がルンドである早朝、散歩に出掛けいつもの夢を見た。人影もない死んだような街角。メガネ店の時計には針がなく、腕時計に耳を傾けると、自分の心臓の鼓動が聞え、走ってきた霊柩車の棺の死者は、イサク自身だった。

イサクは、家政婦アグダの反対を押し切り、息子の嫁・マリアンヌを同乗させ十三時間の道程を車で出発。途中、思いでの別荘で野イチゴを摘んで食べると現実と夢がダブリ、恋人のサーラと再会した。回想から目覚めるとそこに、サーラそっくりの娘と、二人の青年がおり車に同乗させた。さらに走行中、中年のアルマン夫婦の転倒した車に出会い同夫妻も同乗させる。

再び回想シーン。サーラが従兄弟と結婚したり、イサクの妻の密通場面が展開。イサクの悪夢は、死んだ妻から「無関心、自己中心、思いやり欠如」と告訴される。

ルンドのホテルに到着。息子とアグダがイサクを迎えた。息子夫婦も和解し、アグダと心の交流も生まれ、式典で若者たちの祝福を受けた。静かにベットに入ると、水辺にいる両親が、自分に笑いかけているシーンが思い出され、イサクは落ち着いた安らぎを感じながら眠りについた。

「内面の声」として響いてくる。欧州社会でなぜ、ルネサンス以後、「内面の声」が発生したのか。宗教改革前の聖書はラテン語で書かれていたため、一部の宗教家しか読むことができなかった。これが印刷技術の発明で、各国の民族語に翻訳された聖書が広まり、キリスト教徒自身が聖書を読むことにより、今まで外にあった神の声

が、自分の中で響くようになり、宗教改革へ進んでいった。

神によって規範化された言葉で自分を反省していく中で、西欧的な個人が形成されていった。神を伸立ちとした内面的自己は、聖書の中にある人間としての規準規律とは対話ができる。

しかし、それでは自分の中に閉じた独善的な自我が出来上ってしまう。ここに人間が、孤独にならざるを得ない問題が出てくるのではないか。

常に神の「内面の声」を自己の中に響かせ、それによって自分を律していく存在は、身体的な形で他者とかかわるので、自己疎外していく。それが孤独を発生させるもう一つの理由。

イサクが五十年間積み重ねて、規律訓練的な神の位置に立って自分を律していく中で陥った孤独は、名誉博士号を受けに出掛ける朝、悪夢を見た時からイサクは変わっていた。

最初の悪夢で、自分の死を実感したイサクは、徹底したわがままになる。飛行機で行く予定が、車で行きたい欲望に忠実になる。さらに、母の家に寄りたいたい、昔の別

荘にも寄りたいたい出発する。野いちごのあった別荘で、サーラそっくりの少女と若者、さらに車の事故でサルマン夫妻らを同乗させるはめになるなど、偶然的出来事が重なり、今まで予期できなかった他者との関係が生まれてくる。

この出会いに身をさらすことによって、イサクは長い間、守ってきた自我の殻を知らないうちに破った。イサク先生ではなく、自分の欲望をあからさまに出す普通のおじさんになって「孤独」から抜け出した。

イサクは最後の回想で、自分に忠実になることによって、初めて両親が自分に向かって一緒に手を振っている幼い頃の光景を、自分の記憶の中のブラックホールに封印していた光景を見た。闇に閉ざされた過去を照らし出したというより、いま作り出した記憶といってもよい。

今日から明日への自分が、変わることで、自分が思っていた過去まで変化するのだ。他者との出会いが、自己の命の流れを動かす、人間のあるべき真の姿を「野いちご」は教えてくれている。

学習・文化情報

探していた講座がある

市外局番のないものは044

学習・文化情報

講座・講演



「親と子の家電おもしろ

歴史講座◆東芝科学館」7

月26と27日▽8月9、11日

ともに10、12時と14、16時

の2回。内容は、テレビの

歴史、冷蔵庫の歴史など。

対象は小学生以上。定員各

250人。入場無料。申込

み、問い合わせは☎549

12200の同館実験教室

担当まで。同館はJR川崎

駅より、バス停小向または

小向交番前下車、徒歩1分。

「楽しい工作教室◆東芝

科学館」8月2、7日午前

の部10、12時、午後の部14

、16時。内容は、モーター

の勉強と、手作りモーター

組み立て及び自動車組み立

て。対象は小学生以上。定

員先着各50人。教材費千円。

申込みは☎5491220

0の同館工作教室担当まで。

同館はJR川崎駅より、バ

ス停小向または小向交番前

下車、徒歩1分。

「ギター&ソング講座」クラシックギターの基礎編

◆県立高津青少年会館」7

月2、30日の毎週金曜、全

5回。19、21時。ギタリス

トを迎えての本格的なクラ

シックギター初心者講座。

対象は青年。定員10人。事

前に☎84412101の

同館へ申込み。同館はJR

南武線・武蔵溝ノ口駅より

徒歩5分。

「植物観察の基礎講習会

◆川崎市緑化センター」8

月11日、13時半から。定員

30人(抽選)。受講料無料。

7月27日までに往復はがき

で、講習会名、住所、氏名、

電話番号を記して、〒21

4多摩区宿河原6の14の

1の同センターへ申込み。

同センターはJR南武線宿

河原駅下車。詳しくは☎9

1112177の同センタ

ーまで。

「親子福祉教育講座」ウ

オークラリー ふくし探偵

団、ウオークラリーをしな

がら「ふくし」について考

えてみませんか◆福祉パ

ルかわさき」7月24日14、16

時と7月27日9時半、16時、

全2回。▽24日、レクチャ

ー。講師は川崎愛泉ホーム

職員の牧岡英夫さん。▽27

日、ウオークラリー。9時

半集合。定員は親子で8組

(先着)。参加費無料。申込

みは☎24615500の

川崎区社会福祉協議会。福

祉パルかわさきは、JR川

崎駅より徒歩10分。

「ビジネス外語・日本語

研修」一般会話と異文化コ

ミュニケーション◆川崎市

産業振興会館」外国語の実

践会話訓練と当該国のビジ

ネス上の慣習、発想、文化

の知識吸収について。▽日

本語9月6、平成6年3月

28日の毎週月曜。受講料10

万円。▽英語9月7、平成

6年3月22日の毎週火曜。

受講料10万円。▽中国語9

月9、平成6年3月24日の

毎週木曜。受講料11万円。

いずれも18時半、20時半、

全25回。対象は初心者(英

語、日本語は若干の知識、

興味のある方)申込みは8

月10日までに☎54814

119の川崎市産業振興財

団情報開発課。同会館はJ

R川崎駅下車、徒歩3分。

「柿生高校コミュニティ

スクール◆柿生高校」①

「墨絵入門」9月3、11月

19日の毎週金曜13、15時、

全10回。定員40人。②スポ

ーツ教室「バレーボール」

10月12、11月12日の毎週火

曜と金曜19、21時、全10回。

定員30人。①②ともに対象

は地域住民。参加費千円。

申込みは①8月20日、②9

月10日までに往復はがきで

講座名を記し、〒215麻

生区王禅寺303の1の同

校。同校は小田急線柿生駅

下車、バス10分。詳しくは

☎98712733の同校。

「文化講演会」いのち、

ときめくととき、物語の世

界◆麻生老人福祉センター」

7月21日(水)13時半より、

話芸写真主宰の北川智絵さん

が麻生にまつわる民話の中

から「ちいちゃんのかげお

くり」「山桜」について講演。

申し込みは7月21日午後1

時半から3時半に☎966

18956の同福祉センタ

ーへ電話で。入場無料。

「ユトリストカレッジ◆

県立勤労女性会館」7月13

、30日の毎週火曜と金曜18

時半、20時半、全6回。内

容は水彩画で果物、花など

静物を描く入門編。講師は

流形展副代表の斎藤守さん。

対象は県内在住、在勤の人。

定員20人。用具は各自持参。

申込みは7月10日までに往

復はがきで氏名、年齢、住

所、電話番号を記し〒21

0幸区南幸町3の154の

3の同館(☎511104

51)まで。同館はJR南

武線・矢向駅または尻手駅

から徒歩7分。

「第27回専修大学夏季公

開講座◆専修大学生田校舎」

7月21、23日9時半、11時

と11時20、12時50分、1日

2時限入全3回。内容は「近

代的原理のゆらぎと自己同

学習・文化情報

参加したい催しがある

一性「世阿弥と花」など。講師は同大学の大庭健さんほか。定員先着300人。受講料1日1千円。全講座を受講すると受講証書を授与。申込みは7月14日までに往復はがきに希望受講日、住所、氏名、年齢、職業、性別、電話番号を記し、〒214多摩区東三田2の1の1同大学生田校舎教務課、(文学部)夏季公開講座係まで。同大学は小田急線向ヶ丘遊園駅北口よりバス10分。詳しくは☎91111254の同大学。

〔第1回KAST科学技術セミナー〕◆かがわサイエンスパーク(KSP)西棟7階 ①7月24日10時45分～17時 ②9月18日13時～17時 ③11月27日13時～17時 ④⑤ともにも交流会17時～18時半、全3回。テーマは「江戸の匠と技」先人達のもの作りの智慧に学ぶ。内容は「江戸の機械技術」からくりを作った職人たち」ほか。講師は国立教育研究所物理教育研究室長の板倉聖宣さんほか。対象は科学技術の教養を高めたい人。定員各80



人。受講料は1回のみ受講の時、一般3千円、KAST賛助会員2400円、学生1千円、3回連続参加の時は2割引。交流会費は別。申込み、問い合わせは☎81912032の神奈川科学技術アカデミー交流普及科まで。開催場所はJR南武線・武蔵溝ノ口駅より徒歩15分。バスあり。

〔市民天体観望会〕◆川崎授産学園 8月28日19時～20時半。月面、夏の星座、木星などを観察。雨、曇りの時は天文映画とお話。参加費無料。小学生以下は大人と。川崎天文同好会協力。同園は小田急線新百合ヶ丘駅下車、バス停・千代ヶ丘より徒歩10分。詳しくは☎95415011の同園。

〔第6回高津サミット祭〕くたかつYOU・遊・友◆県立高津青少年会館 7月24日18時～20時半。内容はお化け屋敷、模擬店、バザー、野外ステージなど。参加自由。同館はJR南武線

・武蔵溝ノ口駅より徒歩5分。詳しくは☎84412101の同館。

〔わら細工「ぞうり」作り〕◆日本民家園 8月1、8、22、29日10時～15時、全4回。対象は小学生以上。定員各40人。教材費1日3百円。申込みは7月15日9時より☎92212181の同園。同園は小田急線向ヶ丘遊園駅より徒歩15分。

〔民技会夏の行事〕◆日本民家園 7月4、18日と8月1、29日わら細工(昔当て、自主制作)▽7月4、18日はた織り(ウール、木綿織織準備)▽8月22日竹細工(花籠)。同園は小田急線向ヶ丘遊園駅より徒歩15分。(☎92212181)。

〔350種の雑草展〕◆川崎市緑化センター 8月3～22日、9時半～16時。約350種の展示。入場無料。同センターはJR南武線宿河原駅下車。詳しくは☎9112177の同センター。

〔ポトルシップ展示会〕◆川崎マリエン 7月17～8月1日9時～21時。入場無料。東日本ポトルシップ愛好会

協力。川崎マリエンはJR川崎駅東口より市バス川崎マリエン前下車。詳しくは☎28716009の川崎港振興協会。

〔映画上映会・夏休みアニメ大会〕◆川崎マリエン 7月25日14時。内容はクマのプーさん、ピーターと狼ほか。入場無料。川崎マリエンはJR川崎駅東口より市バス川崎マリエン前下車。詳しくは☎28716009の川崎港振興協会。

〔天体写真撮影会〕◆川崎市青少年科学館 ①7月25日19時～21時。撮影対象は月(月齢6) ②8月22日18時半～20時。撮影対象は月(月齢5) ③9月26日18時半～20時半。撮影対象は土星。①②③とも対象は小学生以上(小学生は保護者と参加)。定員14人。持ち物はフィルム、一眼レフカメラボディ(カメラの貸出し有り)。雨・曇りの時は中止。申込みは①は受付中、②は7月25日、③は8月22日から☎92214731の同館まで。同館は小田急線向ヶ丘遊園駅より徒歩15分。

〔夏休み理科教室(夕方の多摩川を楽しむ(動物編))〕◆川崎市青少年科学館 7月30日16時半～19時半。雨天中止。対象は小学生以上。定員20人。水筒、筆記具など持参。歩きやすい服装、

〔プラネタリウム〕◆川崎市青少年科学館 7月「星の花火」ベルセウス座流星群▽8月「ストーンヘンジの謎」。投影開始時間は、火曜15時▽土曜13時半、15時の2回▽日曜・祝祭日10時半、12時、13時半、15時の4回▽7月21～8月31日の火曜10時半、13時半、15時の3回。入場料は大人100円、子ども50円。同館は小田急線向ヶ丘遊園駅より徒歩15分。詳しくは☎92214731の同館。

〔市民天体観望会〕◆川崎市青少年科学館 7月10、17日19時半～21時▽8月14、21日19時～21時半。土星、星雲、星団など観察。雨、曇りの時は中止。小学生は保護者と参加。同館は小田急線向ヶ丘遊園駅より徒歩15分。詳しくは☎92214731の同館。

〔夏休み理科教室(夕方の多摩川を楽しむ(動物編))〕◆川崎市青少年科学館 7月30日16時半～19時半。雨天中止。対象は小学生以上。定員20人。水筒、筆記具など持参。歩きやすい服装、

学習・文化情報

ききたい音楽がある

ステージ



長袖、長ズボンで。集合場所はJR南武線登戸駅改札口。申込みは7月16日から。☎92214731の同館。  
 「相模湾のカニ」青少年科学館収蔵資料より◆川崎市青少年科学館「7月19日(月曜日)9時半〜16時半。夏のいそ浜で出会うカニを中心に展示。」

「トンちゃん仲間たち」フロアーコンサート今年も若者たちがやって来てコンサートが始まるよ◆麻生区役所玄関ホール」7月10日14時半〜16時半。出演は、サックス・飯田洋司さん他、コーラスはザ・ボンジョーズ、ロックバンド他。じやりんこクラブなど主催。入場無料。車いすスペース有り。同区役所は小田急線新百合ヶ丘駅下車、徒歩2分。詳しくは☎95414641(夜間のみ)の佐藤さんまで。  
 「親と子の音楽会」バラエティコンサート◆会館

同館は小田急線向ヶ丘遊園駅より徒歩15分。詳しくは☎92214731の同館。  
 「あさお寄席」◆麻生市民館「8月7日14時開演。出演は三笑亭夢三四さん、春風亭柳八さん、三遊亭小田原丈さん。会費千円。夏の午後、涼しくなるお話が聞けるかも知れませんよ。主

とどろき」7月23日14時半開演。出演は芸術村あすなろ。入場料は500円(4歳以上)。定員先着200人。申込みは7月22日までに、来館するか☎7331333まで。同会館はJR・東横線武蔵小杉駅より市バス市営等々力グランド入口下



催は街に咲くイベント企画、川崎市新都心街づくり財団申込みは☎96616200の同財団、☎95416917の佐々木宅☎95510598の小林宅まで。同館は小田急線新百合ヶ丘駅より徒歩2分。

車。

「青少年のためのコンサート」◆神奈川県青少年交響楽団演奏会◆幸市民館「7月29日14時から。曲目はモーツァルト・ドンジョバンニ序曲、メンデルスゾーン・バイオリン協奏曲ほか。入場無料。主催は神奈川県青少年交響楽団。同館はバス停幸区役所前入口下車、徒歩2分。詳しくは☎57114971の同楽団事務局・稲垣さんまで。  
 「第28回川崎合唱まつり」◆麻生市民館「7月18日10時半から。入場無料。市内の合唱団が日頃の活動の成果を発表します。川崎市合唱連盟、川崎市教育委員会主催。詳しくは☎2001

スポーツ



2111内線3305の教育委員会文化課。会場は小田急線新百合ヶ丘駅下車、徒歩2分。

「暑中げいこ」◆石川記念武道館「7月23〜25日、全3回。自由練習(23と24日10〜16時半)▽柔道、合気道(23と24日18〜20時半、25日10〜12時)▽剣道(23と24日10〜12時半、25日10〜12時)▽なぎなた(23と24日14〜16時半、25日13〜15時)▽空手道、少林寺拳法(23と24日18〜20時半、25日13〜15時)。対象は小学生以上の経験者。定員各50人(剣道100人)。参加費無料。申込みは7月18日10時から直接来館。同館はJR南武線・鹿島田駅より徒歩15分。詳しくは☎54410493(月曜休館)の同館か、☎55513011の幸スポーツセンターまで。

「自強術入門」◆県立高津青少年会館「7月7〜28日の毎週水曜、全4回。19

ギャラリー



20時半。健康体操でリフレッシュ。対象は青年。定員15人。申込みは☎84412101の同館まで。同館はJR南武線・武蔵溝ノ口駅より徒歩5分。

「会館とどろき」7月14〜19日：幸・中原区中学校生徒作品展。主催は美術科研究部会。▽7月24〜8月2日：会館とどろき講座子ども絵画・書道展。主催は教職員互助会。▽8月3〜10日：紫墨会展。主催は根岸敏夫さん。▽8月28〜9月12日：遠藤英夫(花と旅)写真展。主催は遠藤英夫さん。いずれも時間9〜21時半(日曜は17時まで)。同会館はJR・東横線武蔵小杉駅より市バス市営等々力グランド入口下車。詳しくは☎73313333の同会館まで。

「中村正義の美術館」9月1日より「中村正義の常設展」で開館。7月19〜8月31日まで夏季休館。同画廊は小田急線読売ランド前

学習・文化情報

《参加したいグループがある》

駅よりバスで細山下車、徒歩3分。詳しくは☎95314936の同館。

〔画廊ランブ屋〕 7月15

25日：斎藤祐一ガラスの器展▽9月11日：アメリカンポップアート展。いずれも開館時間は11時18時半（最終17時）。火曜休廊。同画廊はJR南武線・京王線稲田堤駅より徒歩5分。詳しくは☎94514416の同画廊まで。

〔ギャラリー幸〕 7月30

8月11日（木曜休廊）：海の展。開館時間は11時18時。同ギャラリーはJR川崎駅西口より徒歩5分。詳しくは☎55518181の同ギャラリーまで。

〔川崎市民ギャラリー〕

7月9日14日：無美展。油彩、水彩、デッサンなど展示。主催は無美展。開館時間は10時19時。同画廊はJR川崎駅東口より徒歩5分、銀柳街内。詳しくは☎20013305の教育委員会文化課まで。

〔教育文化会館〕 7月4日（月曜休館）：第1回かわさき市民アンデパン

ダン展。市民の創作作品の発表の場として開催する無審査の新しい美術展。開館時間は9時17時（土、日曜は16時半まで）。川崎市教育委員会など主催。同館はJR川崎駅より徒歩15分、バスあり。詳しくは☎20013305の川崎市教育委員会文化課。

会員募集



●あさおボランの広場

《川崎市麻生区片平2-1-8 11、菅原陽子代表》宮沢賢治に魅せられた仲間が、賢治を読み、聞き、語り、歌っています。「花巻賢治こどもの会」出身の谷口先生とともに、純粋無垢な賢治にふれ、心洗われる時を過ごしています。連絡は☎98810165の同代表宅まで。

●さくら体操クラブ

《川崎区浜町1-7-13、吉野聡子代表》リズムにあわせて軽やかに、またゆつくり動く楽しさを、あなたも感じてみませんか。ストレッチ、柔軟体操、腹筋・背筋

運動等。一度、見学にいらして下さい。毎週木曜10時11時45分、市体育館で。連絡先☎32213855の同代表宅。

●人物画研究会

《川崎市多摩区西生田4-25-18B 1104千本京子代表》油絵、裸婦絵画研究会。人物画は絵画の基本です。対象を深く観察し、そこから生まれる感動を画面に描き込んでいきます。会員は男性を含む30代15人。一緒に描いてみませんか？月2回火曜日9時30分12時、県立川崎治水事務所。連絡先は☎95113583の代表宅か98910182の平山さん宅。

●田園マンドリン・アン

サンブル《宮前区宮崎5-12-31、浜田正治代表》クラシックから軽音楽まで、月二回土曜14時16時、田園都市線宮崎台駅下車3分宮崎会館で練習しています。指導は日本マンドリン連盟常任理事斎藤総子先生。演奏会も年二、三回開きます。会費（月額）3千円、入会金千円。連絡は☎0441

85415532の代表宅。

●幸いけ花研究会《幸区戸手本町1-56、石田美佐江代表》日本の伝統文化である「生け花」を生涯学習として、若い人から83歳まで、楽しく勉強しています。一緒にいかがですか？月3回木曜10時12時、幸市民館で。連絡は☎53313452の同代表宅か☎51116674の本田宅まで。



●川崎実年ボランティヤ

の会《川崎市中原区小杉陣屋町2-7-36、中川良雄会長》個人の持っている特技を生かして、地域の人々に趣味・教養・生活技術・保健などの指導をしたり、

市民館や各施設で講座を開設したりしています。50歳以上の、お茶・書道・舞踊・英語・手芸・体操、その他の指導ボランティヤの方々の入会をお待ちしています。連絡は☎72217273の中川さん宅か☎76611023の内山さん宅まで。

●岡上陶芸研究会

《町田市三輪緑山1-27-5五島洋子代表》身のまわりにあなただの思いを込めた作品を置いてみませんか？土をいじってみるのも楽しいですよ。初めての方もどうぞ。月4回土曜の夜6時9時、麻生市民館岡上分館で。連絡先は☎044198613994の同代表宅。

●'93かわさき市民「第九

コンサート・合唱団員募集《'93かわさき市民第九コンサート実行委員会》今年も市民参加の第九コンサートを開きます。野内光明さん指揮の川崎市民交響楽団・合唱指揮／河原哲也・ピアノ伴奏／田中光その他の皆さんと歌ってみませんか？

募集人員—3百名  
資格—原則として市内在住、在勤の高校生以上（家族は小学生も可）  
練習日—9月3日（毎週金曜夜7～9時）  
場所—宮前小、及び教育文化会館

申込み—ハガキに氏名、年齢、住所、電話番号、わ

**小誌の無料配布場所  
14カ所 お近くの  
の所でお受け取りを**

【川崎区】さいか屋川崎店▽ヌマヤ川崎店▽川崎信用金庫本店・川崎地下街出張所・小田支店・京町出張所・大島支店・大師支店・渡田支店・遠藤町支店・加瀬支店・小倉出張所▽横浜銀行川崎支店・大島支店・大師支店・御幸支店▽住友銀行川崎支店▽神奈川県労働金庫川崎南支店・川崎支店▽JR川崎駅▽市立川崎病院▽市立井田病院▽太田総合病院▽東京電力川崎支社▽有隣堂川崎駅前BE店▽有隣堂川崎地下街アゼリア店▽教育文化会館▽情報

かる人は自分のパート、「第九」経験の有無を書いて、川崎区宮本町6安田ビル・川崎市教育委員会文化課内「第九コンサート実行委員会」宛てに申し込んで下さい。

参加費—入会金千円、練習費月額2千円、楽譜代、練習用カセットテープ別。

コーナー▽プラザ田島▽県立川崎図書館▽市立体育館▽青少年センター▽市役所▽川崎区役所▽労働会館▽労働資料室▽ヨネッティー堤根▽神奈川第二中・高年齢労働者福祉センター「サンライフ川崎」▽パン工房「パペーノ」▽ギャラリ—ぱれつと▽レストラン「びあにしも」

【幸区】川崎信用金庫鹿島田支店・古市場出張所・御幸支店▽幸市民館▽幸図書館▽石川記念武道館▽幸スポーツセンター▽幸区役所▽産業振興会館▽県立勤労女性会館  
【中原区】川崎信用金庫新城支店・住吉支店・武蔵小杉支店・新九子出張所・平

発会式—8月20日（金）午後7時、教育文化会館。問い合わせ—川崎市教委文化課（2000）3305の実行委員会事務局 ●パステル画サークル

「エイプリルフル」《中原区下小田中1—12—24布施荘201、前田武代表》パステルとスケッチブック

間支店・宮内支店・中原支店・向原支店・荻宿支店▽横浜銀行鹿島田支店・武蔵小杉支店・新城支店・元住吉支店▽横浜銀行溝口支店▽神奈川県労働金庫中原支店▽中原市民館▽中原図書館▽市民ミュージアム▽中原区役所▽エポックなかはら▽中小企業・婦人会館▽総合自治会館▽消費生活センター▽会館とどろき▽フード・ハウス大野屋小杉店・住吉店・中原店

【高津区】川崎信用金庫子母口支店・高津支店・二子新地出張所・久地支店・野川支店・梶ヶ谷支店・有馬支店▽さくら銀行溝口支店▽高津市民館▽高津図書館▽高津区役所▽市民プラザ

で油絵感覚の絵が描けます。絵の好きな青年を募集しています。毎週木曜18～21時県立高津青少年会館で。会費、2千円。連絡は☎788—3505の同代表宅。

●写経の会《宮前区宮前平1—10—12、内谷和子代表》毎月1回、1枚の写経をして、残りの時間はお茶

▽イトーヨーカドー溝口店 【宮前区】川崎信用金庫向ヶ丘支店▽横浜銀行鷺沼支店・川崎北部市場支店▽住友銀行宮崎台支店▽聖マリアンナ医科大学病院▽東京電力高津営業所▽宮前市民館▽養生分館▽宮前図書館▽青少年の家▽宮前区役所

【多摩区】川崎信用金庫稲田堤支店・宿河原支店・中野島支店・長沢支店・登戸本店・読売ランド駅前支店▽横浜銀行登戸支店・稲田堤支店・生田支店・読売ランド駅前支店▽JR登戸駅▽東京電力生田営業所▽画廊ランブ屋▽登戸ドレスメーカー学院▽多摩市民館▽多摩図書館▽日本民家園▽青少年科学館▽青少年創

をいただきながら先生に写経の功德や、人生についての講話などをしていただいております。自由参加ですのでどなたでも気軽にお出掛けくださいませ。第2・3水曜日午前10～12時、宮前市民館で。会費は月千円。連絡は☎852—1329の同代表宅。

作センター▽多摩区役所▽フルーツパーク▽緑化センター

【麻生区】川崎信用金庫柿生支店・百合丘支店・新百合丘支店▽横浜銀行百合丘支店・新百合丘支店・柿生支店▽住友銀行新百合丘支店▽さくら銀行柿生支店▽神奈川県労働金庫新百合丘支店▽つつみ歯科新百合丘支店▽ホワイト急便金

程店▽パティ薬局▽有隣堂新百合丘イトーヨーカ堂店▽麻生市民館▽岡上分館▽麻生図書館▽麻生スポーツセンター▽麻生区役所▽福祉バルあさお▽ヨネッティ—王禅寺  
（この他、老人いこいの家に若干部数置いてあります。）

# ミニエッセ

## 額に入れ飾りたい 最近の表紙の絵

「Stage Up」の表紙が3月号から季節感あふれる絵になりましたね(佐保田正・川崎市幼稚園協会会長)。「もう少し大きな絵なら切り取って居間に飾りたいわ」(多摩区の主婦、三浦敦子さん)多くの市民のみなさんから、このような感想が寄せられています。

3、4月号の作者、清水幹子さんの紹介は、小誌4月号当欄で触れたので、今号では5、6月号の作者、田村文子さんについて紹介する。編集チームがお願いした時「内容の濃い生涯学習情報誌の表紙を飾らせていただいていたのでしょいか。田村さんの謙虚な言葉。

小学館が88年に出版した「東京の歳時記」と3年前の「花のうた」は、俳句や短歌、詩をたしなむ人達から、その内容とともに絵が話題になったが、その絵の中に田村さんの作品が載っている。さらに一昨年、長期信用銀行(長銀)の新聞広告に毎月2回、計24回、田村さんの季節の花が掲載された。

小誌が昨年の3月号から連載した「随想 高橋清・川崎市長の『思いつくま』の10回のカット絵は、田村さんの作品。「カラーで見たい」との読者の要望がかなりあった。

## 「生涯学習の重要事項を系統的に掲載」と評価も

今月号「いまを話す」のインタビュアー・椎野和枝さんが、編集チームとの事前打ち合わせの際「本当に『ステージ・アップ』は内容がしっかりしていますね」。

椎野さんは、ゲスト・由比さんへインタビュウをする準備のため、川崎の生涯学習の歩みや市民の声を改めて学習しようと、資料集めをしたが、予想以上に膨大な量に溜め息。そこで、ステージ・アップのバックナンバーに目を通した。

小誌の一昨年9月号に、川崎市教委と川崎の生涯学習を語る市民サロ

ン共催の市民討議で「身近な施設作りと開放を……」▽昨年5月号では、各界・各党代表の生涯学習についての考えや「市民の生活と学習に関するアンケート」調査結果▽6月号には、東大名誉教授で、市生涯学習推進基本計画策定調査委員の確井正久委員長に生涯学習の今後の在り方をインタビュウ▽10月号が、社会教育研究集会の模様▽今年の3月号が、かわさき市民アカデミーの創設をめざしての中間報告▽5月号に市生涯学習基本計画素案市民討議の質疑と答弁——が掲載されている。

「生涯学習の重要事項の内容が、要領よく、コンパクトにまとめられ、時期を失する事なく掲載され、大変参考になりました」と椎野さん。実は、編集スタッフは月々の仕事に追われ、系統的に生涯学習の重要事項を掲載している意識はなく、このように評価され気恥ずかしい思いも。

## 編集後記

梅雨の季節になると、体がだるくなり、何をやるにも億劫になります▼小誌5月号「いまを話す」のゲストで、オランダ・タン研究の第一人者、鈴木晃さん

は先日、湿度100%の第二の故郷ボルネオに行かれました▼自然を守る国際貢献、本当にご苦労様です▼お陰様で同号は大好評で鈴木さん自身、反響の大きさに驚かれています▼小誌スタッフも鈴木さんを見習い頑張っています▼24ページに増ページをして「特集 川崎に生涯学習の時代は到来するか」を10ページにわたり掲載しました▼由比意出男さんへのインタビュウと篠原一教授へのインタビュウは、本当に楽しく、いろいろと示唆に富んでいます▼ぜひ、ご一読ください▼さて、読者のみなさまから要望がありました「はりきつてます グループ紹介」のワイド化が実現しました▼その中には2年越しで「強く要望」されていた方もいます▼小誌は、熱心な読者に支えられ成り立っています▼先日、フードハウス大野屋の大野省吾社長が電話で「ステージ・アップの文化の香りを店に置きたいので」▼夏季号から3店にお願いすることにしました▼ありがたい評価と措置に感謝します。

## 発行 財団法人 川崎市生涯学習振興事業団

〒215 川崎市麻生区万福寺一の二の二 新百合21ビル  
電話(〇四四)九五二一五〇〇 FAX(〇四四)九五二一三三〇  
編集人 田 中 園

## 同事業団生涯学習情報コーナー

〒210 同市川崎区富士見二の一の三 教育文化会館一階  
電話(〇四四)一三三三二五〇

# 楽しさを贈る、 さいか屋の商品券



さいか屋(川崎店・横須賀店・藤沢店・町田ジョルナ、サイカマート、及び三越提携店グループ)でご利用頂けます。  
☆1,000円より、ご予算にあわせて各種ご調整いたします。

■川崎店・1階商品券コーナー



さいか屋川崎

〒210 川崎市川崎区小川町1番地  
TEL. 044-211-3111



## 元気倶楽部

◆お湯も使えて便利です  
株式会社 タイキ ジャパン

価格 230,000円  
(消費税、工事費別)

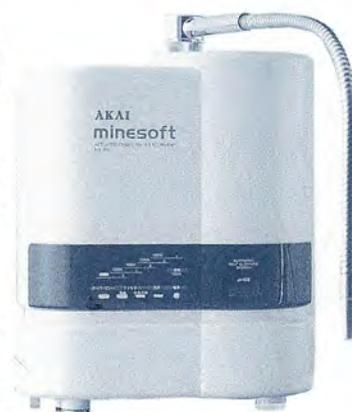
## 水を選ぶ人の 整水器はこれ!

●このアルカリイオン整水器は優れた性能で信頼を集めています。

☆健康にいい  
アルカリイオン水  
☆美容にいい  
アストリンゼン水

◇自動洗浄機能  
◇電解レベルスイッチ  
◇カートリッジ交換  
ウォーニング機能

ライフステージを豊かにする整水器をお手元にどうぞ



## minesoft ミネソフト

AKAI 赤井電気株式会社

価格 198,000円  
(消費税、工事費別)

いまなら2週間  
無料貸し出し中

お気軽に無料カタログをご請求ください  
☎ 044-954-4154 株ヒューマンテックコーポレーション  
商品のご注文も電話で 川崎市麻生区万福寺1-8-7-306